

2026年6月30日

**無印良品「昔ながらの製法で編み立てたTシャツ」シリーズを新発売**

空気を含んだようなやわらかな風合いのカットソー



無印良品を展開する株式会社良品計画（東京都文京区／代表取締役社長 清水智）は、ほどよい厚みと肌触り、柔らかさが特長の「紳士 昔ながらの製法で編み立てたクルーネック半袖Tシャツ」を7月6日（月）から、「紳士 昔ながらの製法で編み立てたクルーネック長袖Tシャツ」を8月24日（月）から、大型店舗を中心とした無印良品の店舗とネットストアで順次発売します。

良品計画は、「感じ良い暮らしと社会」の実現に向けて、「簡素が豪華に引け目を感じることのない価値観」をもとに、日常の暮らしを整え、豊かにすることを目指し、商品やサービスを提供しています。

本商品は、これまで MUJI Labo で好評をいただいていた「昔ながらの製法で編み立てた天竺Tシャツ」をベースに、レギュラーラインで展開を開始します。これまでのフィット感を見直し、日常使いしやすいTシャツへとアップデートしました。効率を追い求める大量生産・大量消費の時代の中で、このように時間をかけて編み立てる編み機は年々失われつつありますが、丁寧に編み上げることで、やわらかな風合いに仕上がる特長があります。本商品には日式的編み機であるループウィール編み機を活用しています。糸に余計な力をかけず、ゆっくりと編み立てることで、空気を含んだようなやわらかな風合いを実現しています。無印良品では、近代化の中で失われつつある製法や背景にも目を向け、日常に寄り添うものづくりを今後も大切にしています。

**■ループウィール編み機**

昔ながらのループウィール編み機は、現在では世界でも日本でもほとんど残っていない希少な編み機です。シリンダーに針を取り付け円盤状の装置が回転しながら生地が成型されていく仕組みで、この回転する円盤状の装置がループウィールです。下から上へ巻き上げながら編まれていくことで、巻き上げ編み機とも呼ばれています。巻き上げながら編むことで生地に掛かる余計なストレスがより少なくなります。ゆっくりと生地が編まれること、巻き上げながらストレスが少なく編まれることの2つの特長により、ループウィール編み機で編まれた生地は、たっぷりと空気を含んだようなやわらかな仕上がりで、ゆったりと体になじみます。

**■紳士 昔ながらの製法で編み立てたクルーネック半袖Tシャツ／長袖Tシャツ**

柔らかい風合いと肌触りの良さが特長のクルーネックTシャツです。室内でもつろぎやすいよう、ややゆったりしたシルエットにしています。綿はオーガニックコットン100%です。半袖Tシャツは暑さが残る季節から秋口への移行期に使いやすい、落ち着いたトーンでありながら涼しさも感じられる白・サンドベージュ・モカブラウン・ライトグレー・ネイビー・黒の6色展開です。長袖Tシャツは日常使いやすい白・ネイビー・黒のベーシックカラーに、秋らしいモカブラウンを加えた4色展開です。

**◆商品ラインナップ**

[「昔ながらの製法で編み立てたTシャツシリーズ」シリーズ商品、および販売店舗一覧 >](#)

良品計画は、今後も、「感じ良い暮らしと社会」の実現に向けて、天然素材の活用や環境負荷の低減を考慮した商品開発、生活の基本を支える衣食住の商品・サービスの拡充を進めてまいります。